

広島市植物公園 見どころ案内

ミセバヤ

(ベンケイソウ科)

3種のミセバヤのなかまを並べて展示しています。「君にみせばや」と高野山の法師が詠んだ歌が由来です。

ダリア

(キク科)

メキシコ原産。春～夏植えの球根植物で、多様な花姿の品種が作られています。和名は天竺牡丹(てんじくぼたん)。

ダイオウキリン

(トウダイグサ科)

柱サボテンではなく、トウダイグサ属の大型の多肉植物です。隣のモクキリン(木の葉サボテン)も咲いています。こちらは普通の植物の葉をしています。サボテンのなかまです。

秋バラ (バラ科)

秋のバラは春に比べて花数は少ないものの、花の色が濃くなり、香りも強くなる傾向があります。今年は11月上旬が見頃のピークになりそうです。

展示会のご案内

- ◇ 展示資料館 (10/10～10/25) 野生きのこ展
- ◇ 展示温室 (10/10～10/25) サボテン展
- ◇ カスケード (10/24～11/3) ハンギングバスケット作品展
ハンギングバスケット・コンテナ作品公募展
- ◇ 屋外展示場 (10/24～11/3) キク展

キジユ (ヌマミズキ科)

中国原産。多くの実をつけることから、子孫繁栄につながる「喜樹」の名前がついています。ミニバナナが集まったような実がついています。

コスモス (キク科)

メキシコ原産。和名は秋桜(あきざくら)ですが、山口百恵のヒット曲の影響で専らコスモスと呼ばれるようになりました。11月7日には摘み取り体験も実施します。

オキナワズメウリ

(ウリ科)

白い縦じまの果実が赤く色づいています。グリーンカーテンやリース飾りなどに利用できます。果実は有毒です。

アサヒカズラ (タデ科)

旧五千円札で有名な新渡戸稲造が台湾総督府に在籍していた時に献名された「ニトベカズラ」との別名もあります。サンゴ色の花がきれいです。

モミジバフウ (フウ科)

ほかの木に先駆けて、紅葉が進んでいます。休憩展望塔から眺めると、葉色のグラデーションを楽しめます。

カカオ (アオイ科)

チョコレートの原料。パレンティンには、小さな実が手のひら大に成長します。

サガリバナ (サガリバナ科)

本来の花期は夏ですが、今年は10月にもつぼみがたくさんついています。夜咲く花なので、午前中に観賞ください。

ジニア(百日草) (キク科)

小菊とともに盆花のイメージが強い植物ですが、花期が長く花色も多彩なので、夏～秋花壇におすすめの植物です。メキシコ原産。

